



櫻井雪保「旭日老松図」水戸市立博物館蔵



芸術文化振興基金助成事業

特別展

知られざる女流画家 櫻井 雪保

—父・雪館と歩んだ絵画の道—

平成27年10月17日[土]—11月22日[日]

開館時間:午前9時30分—午後4時45分
休館日:月曜日

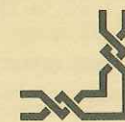
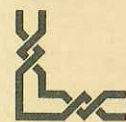
主催:水戸市立博物館

入場料:一般200円[20名以上の団体及び各種割引券は150円] ※茨城県民の日[11月13日]は全員無料

※高校生以下、65歳以上、障害者手帳・療育手帳所持者とその付き添い1名は無料

水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20 Tel.029-226-6521 Fax.029-226-6549
<http://shihaku1.hs.plala.or.jp/>



特別展

知られざる女流画家 櫻井 雪保

— 父・雪館と歩んだ絵画の道 —

櫻井雪保(1754(?)-1824)は、江戸時代後期に活躍した女流画家です。水戸藩出身の画家・櫻井雪館(1715-1790)を父親に持ち、父と共に江戸を拠点に活躍しました。

雪館は、磯浜(現・大洗町)の生まれ。水墨画の大家として知られる雪舟の流派の画風を受け継ぎ、濃い墨を用いた、素朴で力のある作風の作品を多く遺しています。江戸へ出て画塾を開き、弟子達への画法の伝達にも力を

注ぎました。

雪保を絵画の道へ導いたのは父雪館でした。父から水墨画を学び、早くから才能を開花させた雪保は、独自の画風を開拓し、大胆な構図と伸びやかな描線で、山水や龍虎などを堂々と描き上げていきます。特に、由緒ある禅宗寺院に納められた板戸絵は、豪快さと繊細さを兼ね備えた傑作といえるでしょう。

本展は、櫻井雪保の画業を紹介するものです。水戸で初公開の作品や、画家人生に大きな影響を与えた父雪館の作品などを含め、雪保の作品を一堂に展示します。郷土にゆかりのある、知られざる女流画家・櫻井雪保を、広く知っていただく機会となれば幸いです。



1



2



3



4



5

1. 櫻井雪保「虎竹図」(部分)了義寺蔵
2. 櫻井雪保「龍図」(部分)了義寺蔵
3. 櫻井雪館「龍虎蝦蟇仙人図」水戸市立博物館蔵
4. 櫻井雪保「寿老図」水戸市立博物館蔵
5. 櫻井雪保「葡萄図」

関連行事

申込が必要な行事は、定員になり次第、締めきります。

お申し込みは、電話で水戸市立博物館(029-226-6521)へ。

●ギャラリートーク[当館学芸員が展示のみどころを解説します。]

日時:平成27年10月24日[土]・11月15日[日] 各日午前11時から/午後2時から

会場:水戸市立博物館展示室内 申込不要・無料[一般の方は入場券が必要です。]

●博物館で「禅」に触れる-達磨のお話と坐禅体験-

日時:平成27年10月31日[土]・11月3日[火] 各日午後3時~4時

会場:水戸市立博物館 各日定員30名 料金:無料 対象:小学5年生以上

講師:小原宣弘[祇園寺住職] 申込:平成27年10月8日[木]午前9時から電話受付、先着順

●表具体験「オリジナル短冊を作ろう」

日時:平成27年11月1日[日]午前10時~午後4時

会場:水戸市立博物館 定員20名 料金:150円[材料費] 対象:小学生以上[小学3年生以下は保護者同伴]

講師:寺門泰三・高島奈都美[京表具 泰清堂] 申込:平成27年10月6日[火]午前9時から電話受付、先着順

●講演会「櫻井雪保と江戸時代の女性画家」

日時:平成27年11月8日[日]午後2時~3時

会場:水戸市立博物館 定員50名 料金:無料

講師:仲町啓子[実践女子大学教授] 申込:平成27年10月20日[火]午前9時から電話受付、先着順



交通案内

- ・JR・バスで/JR水戸駅から大工町方面行きバスで南町3丁目下車、常陸太田方面へ徒歩10分
- ・お車で/常磐自動車道水戸インターまたは那珂インターより水戸方面へ20分
- ・駐車場[約20台(無料)、満車の場合は水戸芸術館駐車場(有料)等をご利用ください。]

水戸市立博物館

〒310-0062 水戸市大町3-3-20 Tel.029-226-6521